

第45回

北信越国民スポーツ大会

銃剣道競技プログラム



HOKUSHU
NETSU



2024.8

23^{FRI} 25^{SUN}

主催 | (公財)日本スポーツ協会 石川県 富山県 長野県 福井県 新潟県
 石川県教育委員会 富山県教育委員会 長野県教育委員会
 福井県教育委員会 新潟県教育委員会
 (公財)石川県スポーツ協会 (公財)富山県スポーツ協会
 (公財)長野県スポーツ協会 (公財)福井県スポーツ協会
 (公財)新潟県スポーツ協会

共催 | 会場地市町村 会場地市町村教育委員会

後援 | スポーツ庁 主管 | (公財)石川県スポーツ協会 石川県各競技団体

この事業は、競輪の補助金を受けて実施しています。

競輪の補助事業



開催の趣旨

国民スポーツ大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

スポーツを行う者の心得（「日本スポーツ協会スポーツ憲章」抜粋）

- スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行う。
- 競技規則はもとより、自らの属する団体の規則を遵守し、フェアプレーの精神を尊重する。
- 常に相手を尊重しつつ、自己の最善を尽くす。
- アンチ・ドーピングに関する規定を遵守する。

目 次

若い力	1	競技日程	9
石川県民の歌	1	監督・選手名簿	9
あいさつ	2	競技上の規定及び試合方法	10
祝辞	3	銃剣道競技の見方	11
あいさつ	4	成績一覧表	14
歓迎のことば	5	会場案内図	16
競技会役員	6	宿舍一覧・医療機関	17
競技役員	7	競技会本部・大会本部	17
式典次第・諸会議日程	8		

若い力

日本体育協会選定

佐伯 孝夫 作詞

高田 信一 作曲

一、若い力と

感激に

燃えよ若人

胸を張れ

歓喜あふれる

ユニフォーム

肩にひとひら

花が散る

花も輝け

希望にみちて

競え青春

強き者

二、薫る英気と

純情に

瞳あかるい

スポーツマン

僕のよろこび

君のもの

挙がる凱歌に

虹が立つ

友情身にしむ

熱こそいのち

競え青春

強き者

石川県民の歌

梅木 宗一 作詞

窪田 新一 作曲

一、白山に 朝日ははえて

青雲の はれゆくところ

名にかおる 歴史をつぎて

むすばれし われら県民

躍進の 旗をかざして

おおわが石川 ふるいおこさん

二、加賀平野 能登半島に

海山の さち呼ぶところ

うちつどう ちまたに野辺に

工芸の 花咲きにおい

はるかなる 稲田はみのる

おおわが石川 ひらきのばさん

三、日本海 北にひらけて

希望の日 明けゆくところ

いでゆわき 地はゆたかなり

この国土 いやよ榮えて

人の和に 世界を結ぶ

おおわが石川 歌いたたえん

あいさつ



第45回北信越国民スポーツ大会 会長
公益財団法人石川県スポーツ協会 会長

石川県知事 馳 浩

第45回北信越国民スポーツ大会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げますとともに、ご来県いただきました皆様を心から歓迎いたします。

本大会は、今年佐賀県で開催される第78回国民スポーツ大会「SAGA2024 国スポ」への出場権獲得を目指し、各県を代表する精鋭が、郷土の名誉と誇りを胸に、熱戦を繰り広げる北信越最大のスポーツの祭典です。

参加される選手の皆様には、日頃鍛えた力と技を遺憾なく発揮され、観戦される方々を魅了する白熱した戦いを展開されるとともに、大会を通じて交流の輪を広げられ、思い出に残る素晴らしい大会となることを願っています。

元日に発生した令和6年能登半島地震により、今なお、多くの方々が不自由な生活を余儀なくされていますが、県としては、ふるさと石川の一日も早い復旧、その先の創造的復興に向け、全力で取り組んでまいります。

本大会で生まれる活気や賑わいも、必ずや能登の復旧・復興の大きな力になるものと確信しており、能登が再び輝きを取り戻す日まで、今後とも、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、県外からお越しいただいた皆様には、折角の機会ですので、四季折々の山海の幸を活かした豊かな食文化など、ここ石川県の多彩な魅力をご堪能いただければ幸いです。

最後に、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係の皆様方に深く御礼を申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と本大会の成功を祈念申し上げ、あいさつといたします。

お祝いの言葉



石川県議会議員 善田 善彦

北信越5県から多くの選手・役員の皆様をお迎えし、第45回北信越国民スポーツ大会が盛大に開催されるにあたり、石川県議会を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

本大会は、佐賀県で開催される国民スポーツ大会への予選会であるとともに、北信越地域のスポーツの振興と発展に大きく寄与する大会であります。

日々の厳しい練習とたゆまぬ努力により、各県の予選を勝ち抜かれた選手の皆様には、これまで鍛えた力と技を十分に発揮され、輝かしい成績を収められますとともに、選手相互の友情を深め、心に残る素晴らしい大会となることを願っております。

また、日頃から選手の育成やスポーツ振興にご尽力いただいております監督、役員をはじめ関係者の皆様のこれまでのご努力とご熱意に対し、深く敬意を表します。引き続き、スポーツを通じた地域の活性化にご尽力いただきますよう、お願い申し上げます。

元日に発生した令和6年能登半島地震では、本県のみならず北信越5県の各地で甚大な被害が生じました。被災された方にお見舞いを申し上げますとともに、選手の皆さんの活躍が被災地に夢と感動を与えてくれるものと期待しております。

本県は、新鮮な山海の幸、さらには美味しいお酒など、豊かな資源に恵まれております。地震の影響で売り上げが大幅に減少している飲食店などを応援するためにも、こうした石川県の醍醐味もあわせて存分に御堪能いただければ幸いです。

結びに、本大会の運営にあたられます役員の皆様をはじめ、関係各位のご労苦に深く敬意と感謝の意を表しますとともに、本大会のご成功と選手の皆様のご健闘を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

あ い さ つ



石川県銃剣道連盟
会長 佐々木 紀

第45回北信越国民スポーツ大会の開催をお慶び申し上げます。また、各県よりお越しの選手スタッフの皆様、関係の皆様を心より歓迎申し上げます。

選手の皆様には、各県の代表として、郷土の期待を背負っての大会であり、本大会への切符を懸けた厳しい大会でもあります。しかし、スポーツは日常生活に必須であると同時に、夢や感動を与える崇高な文化活動でもあります。勝負に徹するとともに、見ている者の心に残る大会にしてほしいと願っています。

今年1月に発生した能登半島地震では多大な被害をもたらし、今なお復興の道についたばかりという状況ではありますが、そんな中であっても、様々なスポーツ競技の選手や関係者がボランティアや復興の支援に来てくださいました。それは、スポーツが、勝負の世界だけでなく、私たちの社会に大きく貢献する活動であることを如実に示してくれました。スポーツは心に傷を負った人々にも明るい希望を与えてくれる素晴らしい活動でもあるのでしょうか。

また、石川県には明るい話題として、北陸新幹線敦賀開業により、全県にわたって新幹線が開通しました。震災の復興につなげるべく多くの人に石川県にお越しいただき、私たちに力を与えていただければとも思っております。

銃剣道競技は、心技体の集中と相手との絶妙な駆け引きが必要な奥の深い競技でもあります。選手の皆様にはこれまで培った力と技と精神力を存分に発揮していただき素晴らしい大会になることを期待しております。

終わりに、大会開催にあたり、尽力いただきました関係の皆様へ感謝申し上げ、大会の成功をご祈念申し上げ、選手の皆様の健闘をお祈り申し上げます。

歓迎のことば



能美市長 井出 敏朗

第 45 回北信越国民スポーツ大会が、能美市において、各県から多くの選手・監督並びに役員の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、市民を代表して心から歓迎申し上げます。

本大会は、今秋に開催される第 78 回国民スポーツ大会「SAGA2024」への出場を向け、ハイレベルな熱戦を繰り広げるスポーツの祭典であります。選手の皆様におかれましては、日頃の練習で鍛えられた力と技、精神力を存分に発揮されますとともに、相互の親睦と交流を深めていただき、有意義な大会になることをご祈念申し上げます。

さて、本市は、「市民誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり」を目指して、各種スポーツ施策に取り組んでいます。中でも、小中学生がトップアスリートを間近で感じることができる機会を創出するスポーツ教室がとても好評であり、この大会を機に、市民のスポーツへの関心が一段と高まることを期待しております。

また、伝統工芸品である九谷焼を「見る・作る・買う」ことができる『九谷陶芸村』をはじめ、北陸最大級の規模を誇る『能美古墳群』、開湯 1400 年の歴史を持つ『辰口温泉』、奇蹟を呼ぶ怪物 MATSUI の軌跡をたどる『松井秀喜ベースボールミュージアム』等、本市には数多くの魅力ある観光スポットがございますので、本大会終了後には、ぜひお立ち寄りいただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と本大会の成功を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします

競 技 会 役 員

名誉会長	井出 敏朗			
会長	佐々木 紀			
副会長	本郷 一彦	濱谷 隆平	稲田 朋美	熊倉 光生
顧問	田中大佐久	木下 浩明	森 直樹	坂本 泰広
	村上 博啓	野田 哲徳	長村 学	
委員長	堀口 寛之			
副委員長	山田 正雄	松井 清雄	南 敏幸	松田千眞男
	井畠 大	三田村 則昭	北村 義宏	
委員	小倉 章	川口 信夫	奥村 勝夫	増田 宇秀
	出村 俊博	滝沢 元気	渡邊 誠	藤本 幸雄
	津田ふみ子			

競 技 役 員

競技委員長

高柳陽一

競技副委員長

堀口 寛之(石川県) 渡邊 誠(富山県) 鈴木 弘雄(長野県)

小寺 修司(福井県) 竹口 暁(新潟県)

審判長

中村 定市(石川県)

審判員

福海 外吉(石川県) 井嶋 大(富山県) 松田千眞男(長野県)

三田村則昭(福井県) 北村 義広(新潟県)

指導普及係

横濱 忍

総務係

川口 信夫 松村 晃治

進行係

木下 裕樹 安藤 学

会場係

南 敏幸 岡村 怜

記録係

平沢 亮 黒川 威風

放送係

下茶 義雄

時計係

秋村 啓介 山崎 泰弘

救護係

殿田 祐二

補助役員

金沢銃剣道訓練隊

式 典 次 第

【開 始 式】

期日 令和 6年 8月25日 (日)

時間 10時00分

場所 泉台スポーツセンター

【表 彰 式】

期日 令和 5年 8月25日 (日)

時間 試合終了後

場所 泉台スポーツセンター

次 第

- 1 選手団整列
- 2 開始通告
- 3 競技開始宣言
- 4 国旗に礼
- 5 競技会長挨拶
- 6 審判長注意
- 7 選手宣誓
- 8 競技開始

次 第

- 1 選手団整列
- 2 開始通告
- 3 成績発表
- 4 表彰状授与
- 5 講評
- 6 閉会の挨拶
- 7 国旗に礼
- 8 競技終了宣言

諸 会 議 日 程

会 議 名	期 日	時 間	場 所	電 話 番 号
監督・審判会議	8月25日 (日)	9時00分	泉台スポーツセンター	0761-58-5973

競技日程

開始式	令和 6年 8月25日(日)	10時00分
表彰式	令和 6年 8月25日(日)	試合終了後

競技組み合わせ表

5チームリーグ戦

試合開始 10:30 試合終了 11:00

試合順序	県別	1 新潟	2 福井	3 石川	4 長野	5 富山	勝点 <small>(勝者数/勝本数)</small>	順位
①1-5	1 新潟	\						
②2-3								
③1-4	2 福井							
④2-5								
⑤3-4	3 石川							
⑥1-2								
⑦3-5	4 長野							
⑧2-4								
⑨1-3	5 富山							
⑩4-5								
・組み合わせは、抽選とし番号を付ける。 ・代表戦は、銃剣道競技規程による。								

国民スポーツ大会 北信越ブロック代表数 1

選手・監督名簿

県名	監督	先鋒	中堅	大将
新潟県	滝沢 元気	大桃 紘都	滝沢 柊士	小池 健太
福井県	増田 宇秀	水野 友翔		水野 恵寿
石川県				
長野県				
富山県				

競技上の規定及び試合方法

1. 1チーム3名（先鋒、中堅、大将）とし、試合方法はリーグ戦とする。
2. 勝負はすべて3本勝負とし試合時間は5分、延長2分、勝負が決しない場合は判定による。
3. 順位の判定は勝ち数による。勝ち数が同数の場合は勝者数による。勝者数でも順位が決定しない場合は勝ち本数による。勝ち本数も同数の場合は代表決定戦による。代表決定戦はチームごとフリーとする。
4. 代表戦は一本勝負とし試合時間は無制限で勝負が決まるまで行う。
5. 審判方法
3人制とし銃剣道試合審判規則及び細則による。

銃剣道競技の見方

1. 銃剣道競技とは

「銃剣道の由来」

銃剣道は、わが国の伝統的古武道の一つである槍（やり）の突き技を源流とした武道です。史実によると、上野の東京博物館所蔵の宝蔵院流槍術秘事「寛政 10 年 4 月、早川長左衛門手記」を主体に、その他の槍術流派では佐分利流・疋田流・貫流等が研究対象になり、その秘術を余す処なく取り入れるとともに、槍術や剣道の理合い等を合わせて研究を重ね、日本人の体格や性格に最も適した純日本武道として、明治 25 年（1892 年）集大成されたものです。

銃剣道は、突き技を中心とした単純な動作ですから会得するまでは容易ですが、奥義を極めようとするには懐（ふところ）の深い武道です。

「国民スポーツとしての銃剣道」

社団法人 全日本銃剣道連盟は、文部科学省及び（財）日本スポーツ協会の傘下にあつて、武道としての心身の鍛錬を通じて気力・体力を育成する体育的效果と競技力を高めるスポーツ的效果並びに健全な精神的資質（誠実・礼節・信義・勇気・質実剛健・克己心）を養い、国民スポーツとして品位高尚な人間形成を図っています。

連盟は「やって楽しい・見て楽しい銃剣道」を目指し、洗練された品格のある技の駆使と、公正・確かな審判により「判りやすく、スピーディーで、美しい」試合を具現することを求めています。

「美しい」とは、常に相手に敬意を払い、礼に始まり礼に終わる礼儀正しい態度、勝って驕らず負けて悪びれない爽やかな態度、理合いに叶った突き技を駆使し正面から勝負に挑む正々堂々たる態度であり、躰・マナーを欠いた粗野で荒々しい試合は厳に戒め、常に明るく、強く、逞しいものを求めています。

「国民体育大会の参加」

昭和 31 年全日本銃剣道連盟が結成され、青少年への健全なスポーツ活動への普及に努め、小・中学校・高校生及び大学生のクラブ活動、成年の社会貢献活動等に普及発展し、昭和 48 年に日本体育協会の加盟団体となり、昭和 55 年の国民体育大会（栃木）から、国体の正式種目となり、広く国民スポーツとして発展してきております。

2. 銃剣道競技の見方は

銃剣道は木銃を用いて相手の「左胸部」または「喉」を突いて勝敗を競う競技です。

突き技のみで打ち技は無く、相手の木銃を払う以外に木銃を薙ぐことはありません。

試合で一本となる「有効突き」とは、充実した氣勢・正しい姿勢で有効突き部位を剣筋正しく突き、木銃を引き抜いた後に残心（油断のないこと）のある気・剣・体の一致した技でなければなりません。

3. 服装・用具

防具には、面・胴・肩・垂・小手・裏ぶとん（胴ぶとん）・指袋があります。裏ぶとんは、肩と胴の下に装着する衝撃吸収用の用具です。

白または紺の銃剣道衣（稽古着・袴）を着用し、その上に防具を装着します。右腕には称号・段位を表す識別章を着けます。

木銃は、樫の木などを用いた、長さ 166cm、重さ 1,100g 以上のものを使用します。持つ位置が決められており、それ以外の場所を持つと反則になります。

防具



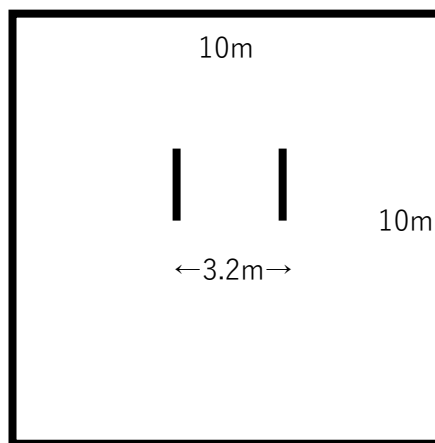
木銃



4. 試合場

板張りの床に縦・横 10m の正方形の区画線を設け試合場とします。試合中に区画外に出てしまった場合は、場外という反則になります。

中心点から 1.6m の場所にそれぞれ「試合開始線」を表示します。



5. 勝敗の決定

試合時間は 5 分 3 本勝負であり、勝敗は、3 人の審判が赤・白の審判旗を挙げることで「有効突き」を表示します。2 人以上の審判が旗を挙げた場合に 1 本となり、2 本先取した方が勝ちとなります。ただし、試合時間が終わったときにどちらかが 1 本を取っていた場合、1 本を取っていた方が勝ちとなります。（1 本勝ち）

試合時間内に勝負が決しない場合、2 分間の延長戦を行い 1 本先取した方が勝ちとなります。それでも勝負が決しない場合は審判 3 名による判定を行い勝敗を決します。

6. 1本になる有効突き部位とは

左胸部を相手の左手の上方から突く「上胴（うわどう）」、左胸部を相手の左手の下から突く「下胴（したどう）」、喉部を突く「喉（のど）」、左胸を隠した小手を突く「小手（こて）」、体勢を崩した相手に対して左胸を狙って真っすぐ肩を突く「肩（かた）」があります。それらの部位を正しい気・剣・体の一致した突きで突いてはじめて1本になります。

7. 反則

試合を公正におこなうため禁止事項があり、これを犯したときには「反則」とし、1試合に反則2回を行うと相手に1本が与えられます。

反則事項は、両足とも場外に出る「場外行為」、相手を不当に場外に押し出す「不当な押し出し」、相手に手をかけたり足をかけたりする「手がけ・足掛け」、木銃で相手の体を打つ動作「危険行為」、相手の木銃を握る「木銃握り」、木銃を落とす「木銃落とし」、木銃の規定外の場所を握る「不正握り」、試合者が接近し10秒以上離れようとしない「接近長し」などがあります。

<h3>銃剣道修行の指標</h3> <p>銃剣道の修行は、たゆまない努力によって心身を鍛練陶冶し、規律を守り、礼節を尊び、信義を重んずる等、社会人として必要な道徳性を高め、もって</p> <p>正しく、 明るく、 強く、 逞しい、</p> <p>人間形成を目指して精進するものである。</p> <p>公益社団法人 全日本銃剣道連盟</p>	<h3>銃剣道の本旨</h3> <p>第1 銃剣道は、わが国の伝統的な武術である槍術の「突き技」を基調として、明治初期に創成され発展した武道である。</p> <p>第2 銃剣道は、武士道の美風である、「誠実」「礼節」「勇気」「質実剛健」及び「克己心」等を徳目として錬磨し、社会に有為な人間の育成を目的とするものである。</p> <p>第3 銃剣道は、「突く」「抜く」「打つ」「払う」「かわす」「押す」及び「足さばき」等の身体活動を通して、健康で豊かな社会生活を営むための、国民の健康・体力づくりに寄与するものである。</p> <p>第4 銃剣道は、木銃を用いて相手の喉・胴等への「突き技」で競い合う競技であり、攻勢的に果敢なところに特色がある。また、技の構成は単純で習得容易であるが、真髄を極めるには奥深いものがある。</p> <p>第5 銃剣道は、稽古と試合を通じて、「知」「情」「意」のバランスのとれた心身の発達を図り、社会への適応力を育成し、心肺機能・スピード・反応力及び持久力を高めることができる。</p> <p>公益社団法人 全日本銃剣道連盟</p>
---	--

北信越国民体育大会(銃剣道)成績一覽表

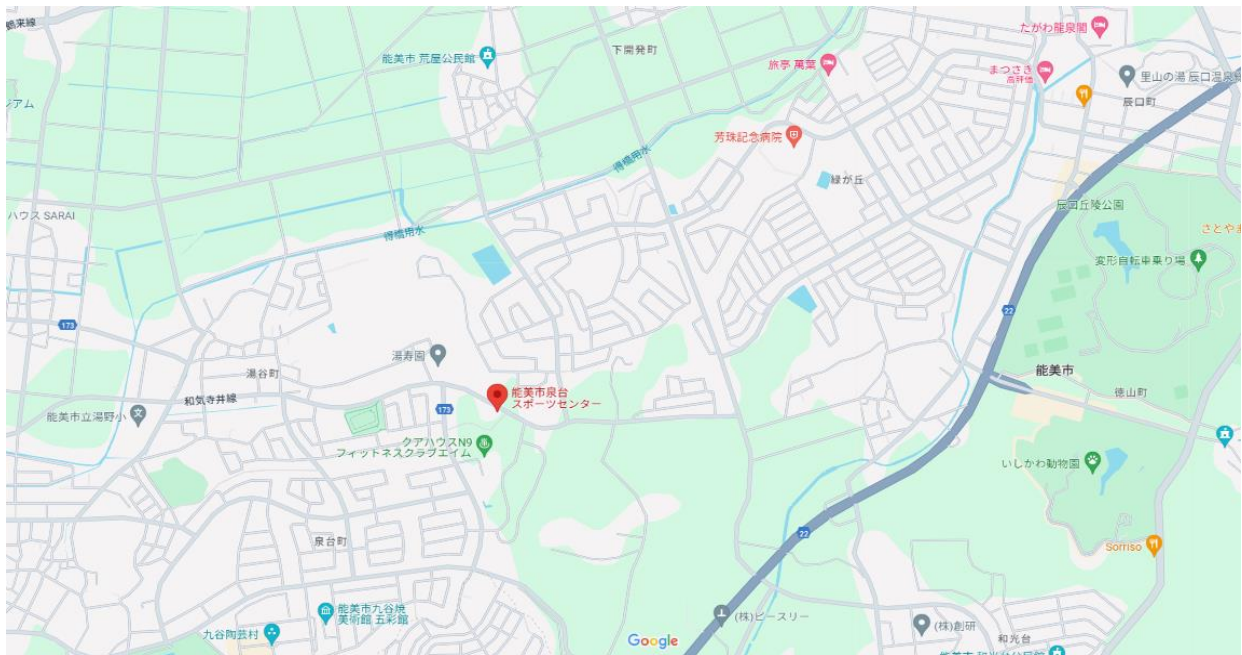
回・年 度	優 勝		
	県 名	監 督	選 手
第1回昭和55年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)関 峯雪・(初)高橋 隆司 (初)坂井 英昭
第2回昭和56年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)関 峯雪・(初)金子 敦 (初)菅原 辰広
第3回昭和57年度	石川	5段 元雄 佳広	(2)元雄 善和・(2)杉本 実 (2)村井 雅彦
第4回昭和58年度	石川	5段 元雄 佳広	(2)元雄 善和・(2)杉本 実 (2)村井 雅彦
第5回昭和59年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)豊崎 堅一・(初)角田 清志 (初)高野 重幸
第6回昭和60年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(2)角田 清志・(2)安彦 勉 (2)吉田 猛
第7回昭和61年度	石川	7段 橋本 博	(初)小野 憲幸・(初)朝倉 健史 (初)小橋 実
第8回昭和62年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(2)込山 勝時・(2)東城 清 (2)五十嵐正志
第9回昭和63年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(2)込山 勝時・(2)東城 清 (2)五十嵐正志
第10回平成元年度	長野	6段 井口 喜八	(2)手塚 佳徳・(2)百瀬 典昭 (2)熊谷 敦徳
第11回平成2年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(初)丸山 育男・(初)新保 正春 (2)中村 克行
第12回平成3年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(初)丸山 育男・(初)新保 正春 (初)野崎 和也
第13回平成4年度	石川	無段 橋本 浩照	(3)森元 誠・(2)中村 友和 (3)長瀬 光宜
第14回平成5年度	富山	6段 斎藤 良隆	(2)坂井 剛志・(2)稲塚 勝彦 (2)田中 幸一
第15回平成6年度	富山	6段 斎藤 良隆	(2)国井 稔・(初)神能 貴典 (2)林 朋紀
第16回平成7年度	富山	6段 斎藤 良隆	(初)広瀬 敬久・(2)国井 稔 (2)林 朋紀
第17回平成8年度	富山	7段 斎藤 良隆	(2)小西 孝典・(3)神能 貴典 (3)広瀬 敬久
第18回平成9年度	福井	8段 桑原 義喜	(初)内田 一也・(初)木藤 洋介 (初)谷口 裕規
第19回平成10年度	富山	7段 深江 安雄	(2)鞍馬 克宏・(初)鞍馬 孝之 (初)小塚 久雄
第20回平成11年度	富山	7段 深江 安雄	(初)中保 竜也・(3)鞍馬 克宏 (2)小塚 久雄
第21回平成12年度	新潟	6段 長谷川 元	(2)堀江 幸喜・(初)森田 幸尚 (2)原田 亮
第22回平成13年度	富山	7段 橋本 峰雄	(2)野口 昭・(2)西野 義嗣 (2)北 知治
第23回平成14年度	富山	8段 富田 文春	(3)野口 昭・(3)西野 義嗣 (初)明和 史恭
第24回平成15年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)前山 敬史・(2)渡邊 享介 (初)小林 大祐
第25回平成16年度	石川	8段 山田 正雄	(初)中村 史也・(初)坂口 慶太 (初)古谷 圭遼

回・年 度	優 勝		
	県 名	監 督	選 手
第26回平成17年度	石川	8段 山田 正雄	(初)大川 翔平 ・ (初)坂口 慶太 (初)吉谷 圭遼
第27回平成18年度	石川	6段 小田 晃平	(初)奥野 功章 ・ (初)田實 雄大 (初)尾上 健司
第28回平成19年度	石川	7段 小田 晃平	(初)小堀 裕和 ・ (2)松木 大輔 (2)中村 栄宏
第29回平成20年度	新潟	6段 丸山 育男	(2)近藤 史章 ・ (初)児玉 恭平 (初)棒 論
第30回平成21年度	石川	7段 高柳 陽一	(初)吉田 翔 ・ (2)永井 一登 (初)正木 登
第31回平成22年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)山田 剛弘 ・ (初)棒 論 (初)児玉 恭平
第32回平成23年度	石川	7段 高柳 陽一	(初)北村 雅之 ・ (3)渡辺 一矢 (3)佐藤 悠太
第33回平成24年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)高井 洸太 ・ (初)大谷 竜輝 (初)渡邊 健斗
第34回平成25年度	新潟	7段 長谷川 元	(2)高井 洸太 ・ (2)渡邊 健斗 (2)大谷 竜輝
第35回平成26年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)野口 将史 ・ (2)高橋 駿平 (2)高井 優樹
第36回平成27年度	新潟	7段 長谷川 元	(2)野口 将史 ・ (初)村上 周太郎 (初)武石 光博
第38回平成29年度	石川	7段 高柳 陽一	(3)望月 大輝 ・ (2)附田 健作 (3)松岡 克哉
第43回令和4年度	石川	8段 中村 定市	(初)中野 翔太磨 ・ (初)大橋 健留 (初)木田 雄太
第44回令和5年度	石川	8段 中村 定市	(初)中野 翔太磨 ・ (初)大橋 健留 (初)木田 雄太

能美市泉台スポーツセンター会場図

住所 〒923-1111 石川県能美市泉台町東11

TEL 0761-58-5973



宿 舎 一 覧

県 名	宿 舎 名	所在地	電 話
福井県	アパホテル小松	小松市飴屋町 53	0570-007-911
新潟県	変なホテル小松駅前	小松市日の出町 1-180	050-5210-9990

競技会本部・記録本部

〒923-1111 石川県能美市泉台町東
TEL 0761-58-5973
「泉台スポーツセンター」

会場最寄医療機関

〒929-0122 能美市大浜町ノ 85 番地
TEL 0761-55-0560
「能美市立病院」

大会本部

公益財団法人石川県スポーツ協会内
第45回北信越国民スポーツ大会実行委員会事務局
TEL 076-268-3100
FAX 076-268-3188